

# 情報公開

## 研究名称

有痛性腫瘍への放射線治療による疼痛緩和に対する神経障害性疼痛の影響を評価する前方視的観察研究

## 研究の目的及び意義

様々な有痛性腫瘍への放射線治療が実地診療で行われており、奏効率（痛みの緩和される確率）として5-8割程度が報告されています。しかし、特定の患者で奏効/非奏効を予測する方法は知られていません。我々の先行研究（未発表）では、神経障害性疼痛をきたす腫瘍への放射線治療は、この痛みのない腫瘍と比べ、奏効しやすいという結果を得ています。本研究では、この知見に再現性があるかどうかを検証します。神経障害性疼痛に対して放射線治療を優先的に選択することで患者のQOLを向上させられることが見出されると、この難治性の痛みへの治療戦略に影響を及ぼす可能性があります。

## 研究の期間

熊本大学大学院生命科学研究部等臨床研究部門倫理委員会で研究が認められてから、2026年12月31日までが研究期間です。

## 本研究の対象

本研究の対象者は、年齢20歳以上 有痛性腫瘍病変を持ちこれに対する放射線治療を予定している症例 文書により同意が得られている症例、に該当される患者様です。

## 方法

放射線治療の開始前・開始後に医師あるいは看護師が情報を得ます。対面診察による評価を原則とするが、全身状態不良の症例も多いと予想され、通院の負担も考え、電話・郵送・ファックスでの回答も許容します。

## 試料・情報の保管及び廃棄の方法について

臨床情報・検査画像などの個人情報や電子データとして、熊本大学病院 放射線治療室・放射線治療科医局にて保管します。データは鍵のかかる研究室の中のパスワードで管理されたコンピューターで管理します。データの匿名化を行います。

## 研究機関と研究責任者

研究機関名は熊本大学病院、研究責任者の氏名は大屋夏生です。

## 本研究への参加と個人情報の保護

本研究への参加を拒否されても何ら不利益は生じません。

研究に使用する患者様の情報は熊本大学病院放射線治療科で厳重に保管し、患者様のプライバシーの保護、人権保護には最善を尽くします。学会や論文発表は個人情報を匿名化して行われますので、個人情報が漏えいすることはありません。

## 利益相反について

本研究は、診療によって得られたデータを使用するため研究費は生じません。本研究の利害関係の公正性については、熊本大学大学院生命科学研究部等医学系研究利益相反委員会の承認を得ており、今後も、当該研究経過を熊本大学生命科学研究部長へ報告すること等により、利害関係の公正性を保ちます。

## 問い合わせなどの連絡先

熊本大学大学院生命科学研究部 担当：齊藤哲雄

平日（9：00～17：00） 096-373-5755（放射線治療科外来）